

インスリン(IRI)		1401000			
IRI		担当部署			
		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		溶血により赤血球内のプロテアーゼにさらされると IRI は分解され、低値化する。			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。			
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		2.1-19.0 $\mu\text{U}/\text{mL}$ A I A - パック C L インスリン添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	$\mu\text{U}/\text{mL}$
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
2.1	19	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>インスリンは、膵ランゲルハンス氏島 β 細胞において前駆体プロインスリンを経て生成されるペプチドホルモンで、糖代謝ならびにアミノ酸、脂質代謝などに関与している。</p> <p>インスリンの代表的な生理作用は血糖降下であり、膵からの分泌も血中グルコース(血糖)濃度の支配を受けている。</p> <p>すなわち、血糖値上昇による促進、低下によりコントロールされる。</p> <p>糖尿病は β 細胞の減少や機能低下に基づくインスリンの分泌不足や、末梢組織でのインスリン作用不足によりもたらされる。</p> <p>血中インスリン濃度は β 細胞のインスリン分泌機能を反映し、糖尿病の診断・病態把握、耐糖能異常の原因鑑別に有用な指標である。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 286</p>				